



特集

LGWAN-ASPの普及状況について

今月号では、LGWAN-ASPの種類について説明するとともに普及状況について紹介します。

1 LGWAN-ASPの種類

LGWAN-ASPは、「図－1 LGWAN-ASPの種類」のとおり、アプリケーション及びコンテンツサービス、ホスティングサービス、ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス、通信サービス、ファシリティサービスの5種類のサービスで構成されています。

(1) アプリケーション及びコンテンツサービス

各種アプリケーションや情報コンテンツ等を提供

するサービスで、地方公共団体等（以下「LGWAN参加団体」という。）から見える唯一のサービスになります。

電子申請、電子入札・調達、行政情報管理／共有、セキュリティ監視などの多様なサービスが提供されています。

(2) ホスティングサービス

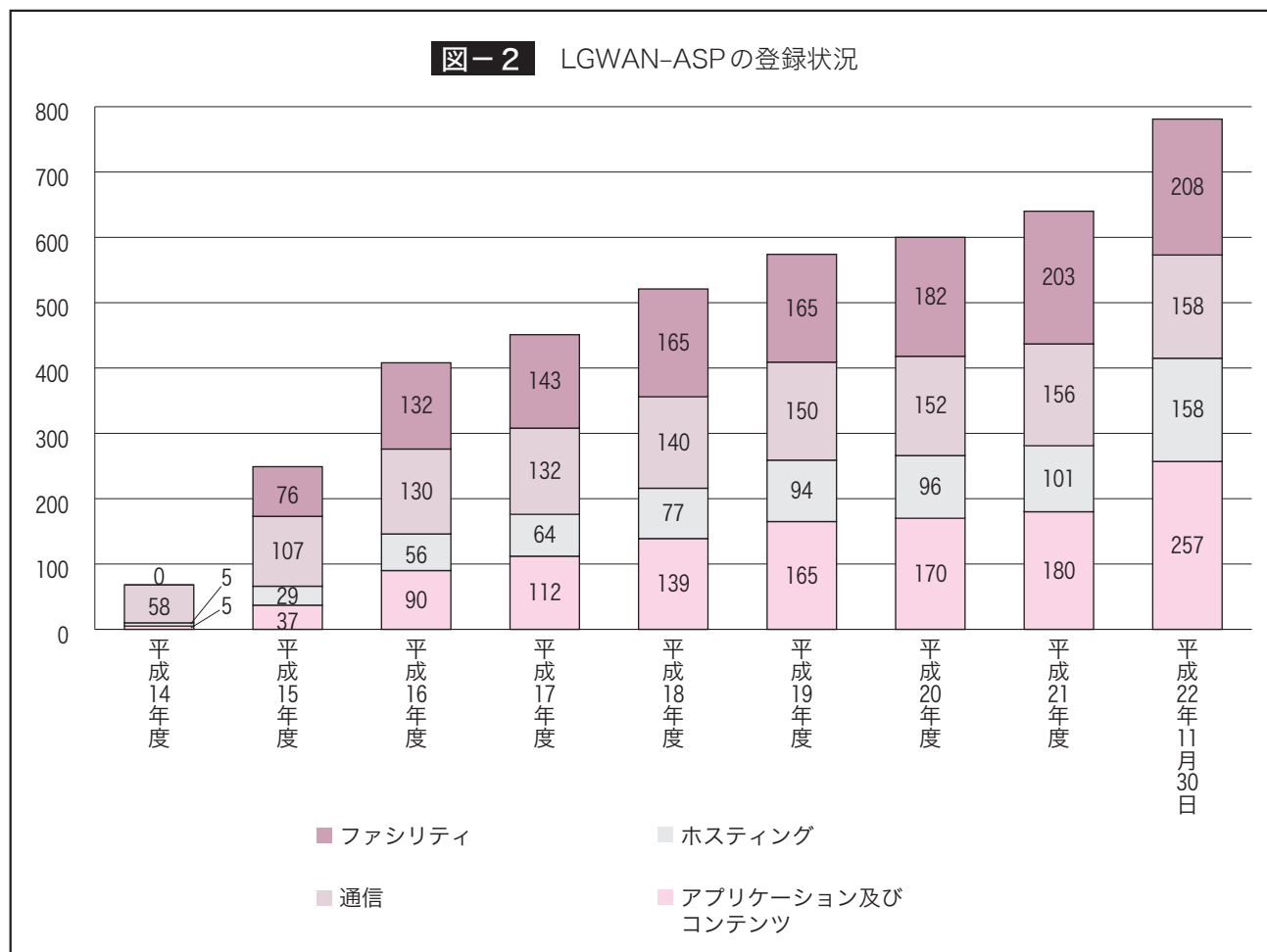
アプリケーション及びコンテンツサービスを搭載するサーバ機器を提供するとともに、運用管理を行うサービスです。

図－1 LGWAN-ASPの種類

階層		LGWAN-ASP のサービスの種類
上位アプリケーション層		アプリケーション及びコンテンツサービス
		ホスティングサービス(注)
基盤アプリケーション層	アプリケーション基盤 基本プロトコル群	ネットワーク層及び 基盤アプリケーションサービス (LGWAN 運営主体)
ネットワーク層		
データリンク層		通信サービス
物理層		
ファシリティ層		ファシリティサービス

(注) LGWAN 参加団体が自らの LGWAN 接続環境により実施するものは「セルフ ASP」と呼ぶ。

図-2 LGWAN-ASPの登録状況



なお、LGWAN参加団体が自らの団体または都道府県域内参加団体等にサービスを提供するセルフASPホスティングサービスという形態もあります。

(3) ファシリティサービス

ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、また、そこでの電源、空調などの設備を提供するサービスです。ファシリティサービス提供者は、自然災害、火災、意図的な破壊及び犯罪など人的脅威に対し、適切なセキュリティ対策を講じる必要があります。

(4) 通信サービス

ホスティングサービスで提供するサーバ機器をLGWANに接続するための専用回線とLGWAN参加団体が利用する「その他回線（LGWAN用県域アクセス回線及び都道府県WANのいずれにも属さない回線）」を提供するサービスです。通信サービス

提供者は、電気通信事業法に定める電気通信事業者として、常に安定した品質の回線を提供する必要があります。

(5) ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス

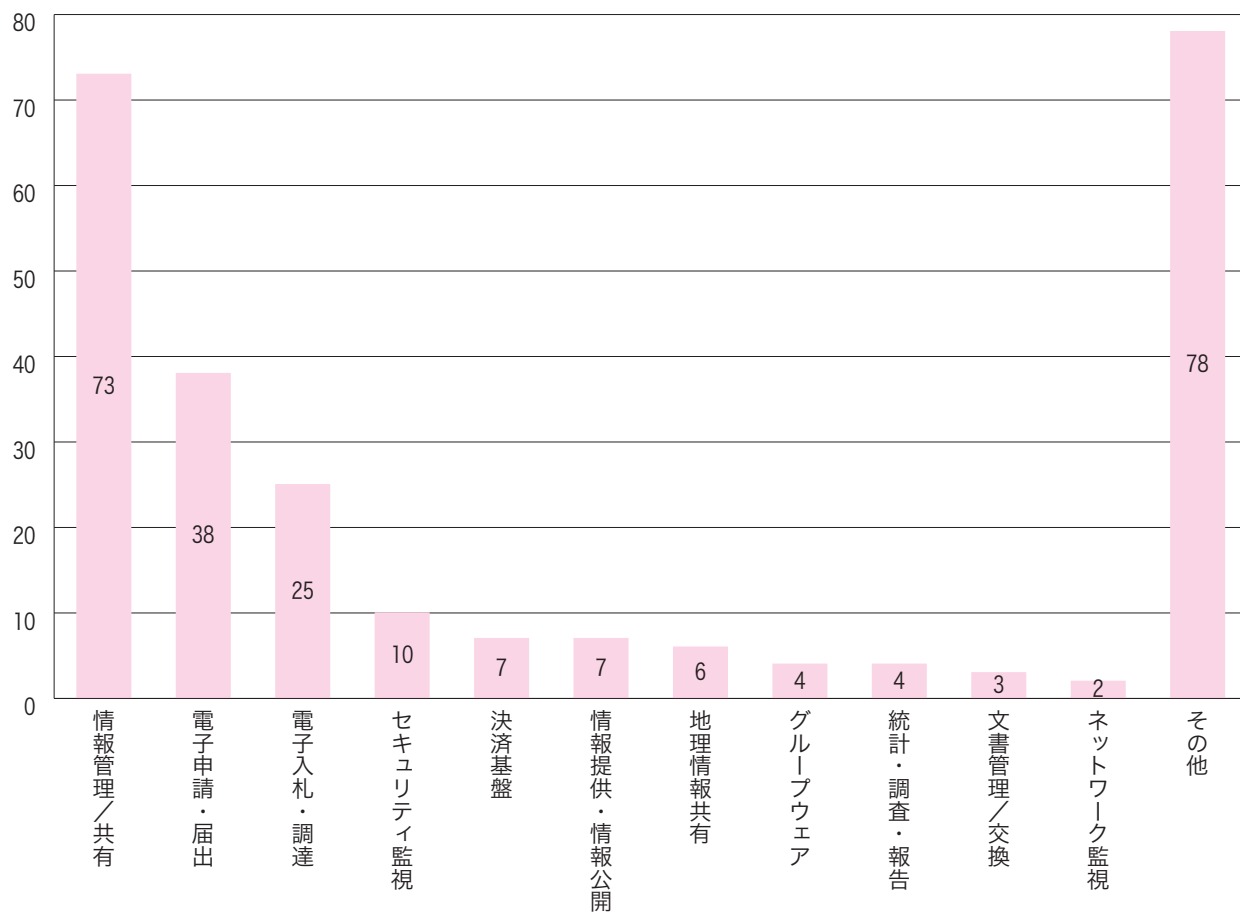
グローバルIPアドレス付与、ドメイン名管理、基本プロトコル群及びアプリケーション基盤（認証基盤、ディレクトリ基盤、公証基盤、文書交換システムAPI等）を提供します。

このサービス提供者は、サービスの性質上、総合行政ネットワーク運営主体が担います。

2 LGWAN-ASPの普及状況

「図-2 LGWAN-ASPの登録状況」のとおり、LGWAN-ASPの登録は年々増加し、平成22年11月30日時点でアプリケーション及びコンテンツサービ

図-3 アプリケーション及びコンテンツサービスの分野別内訳



スが257件、ホスティングサービスが158件、通信サービスが158件、ファシリティサービスが208件となっています。最近では、平成23年1月から開始される国税庁による所得税の確定申告データの送信（以下「国税連携」という。）及びeLTAX（詳細は月刊LASDEC平成22年9月号の総合行政ネットワークNO.95特集eLTAX参照）、あるいは、自治体クラウドなどの実証実験が行われていることから、これに関連するアプリケーション及びコンテンツサービス、セルフASPホスティングサービス、ホスティングサービスの登録が増加しています。

また、住民票の写し・印鑑登録証明書のコンビニエンスストアにおける証明書等の交付サービス（以下「コンビニ交付」という。）が平成22年2月に開始されていますが、これにも利用されています。平

成22年11月末時点で6団体が実施されていますが、平成23年4月までに新たに約40団体が実施する予定であり、平成23年度以降も増加するものと期待されることです。

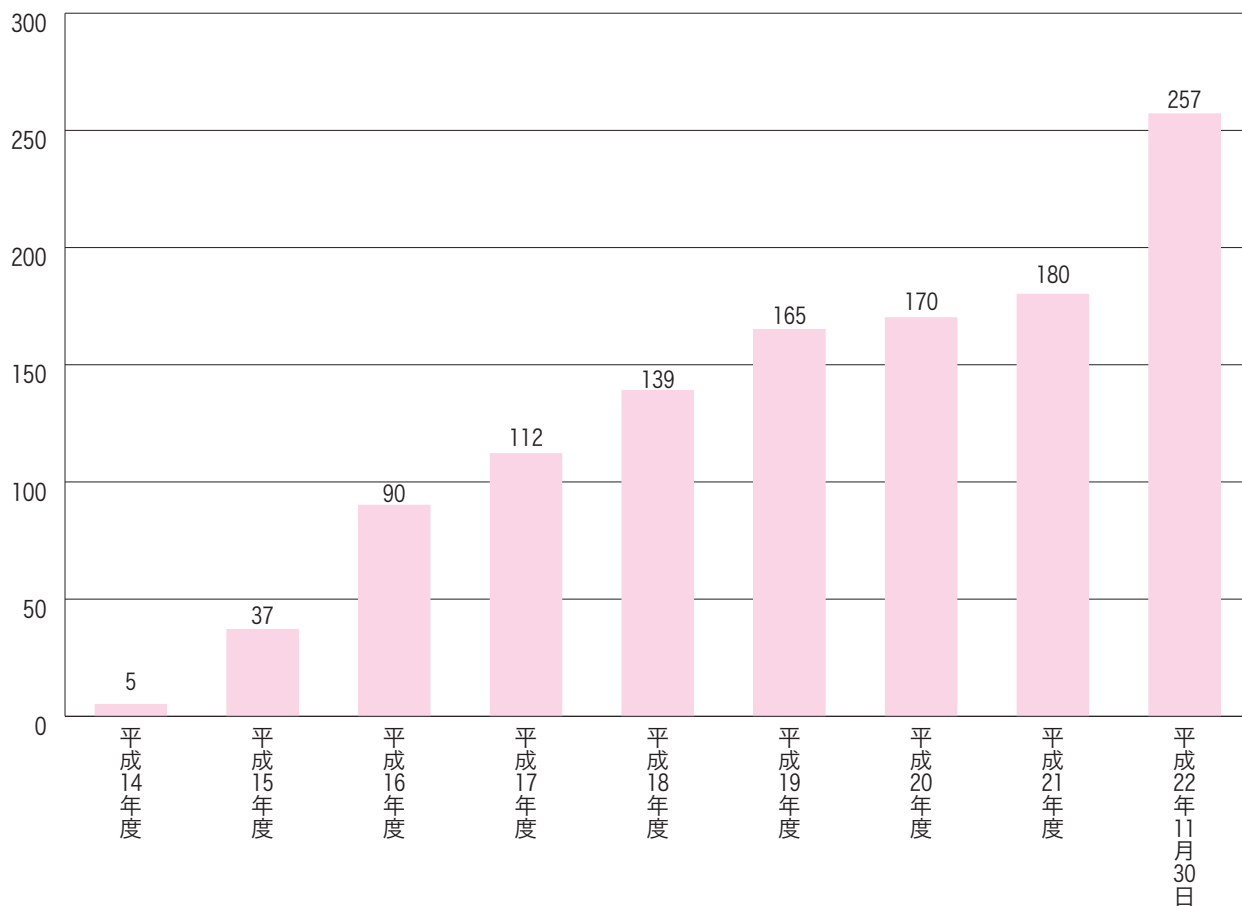
3 アプリケーション及びコンテンツサービスの分野別内訳と増加傾向

アプリケーション及びコンテンツサービスは、図-3のとおり行政情報管理/共有、電子申請・届出、電子入札・調達、セキュリティ監視、決済基盤、地理情報共有、グループウェア、情報提供・情報公開、統計・調査・報告のサービスに分類できます。

平成22年11月30日時点の登録では、行政情報管理／共有に関するサービスが著しく増加しています。これは国税連携やコンビニ交付によるものです。



図-4 アプリケーション及びコンテンツサービスの年度ごとの普及状況



なお、アプリケーション及びコンテンツサービスの年度ごとの普及状況は図-4のとおりで、年々増加傾向にあります。

4

アプリケーション及びコンテンツサービスの提供者の内訳

アプリケーション及びコンテンツサービスは、図-5のとおり地方公共団体が最も多くなっており、今後はASPや自治体クラウドの目的の一つである共同利用を促進するためにも、民間事業者からの登録が期待されています。

5

LGWAN-ASPサービス提供者になる際の費用

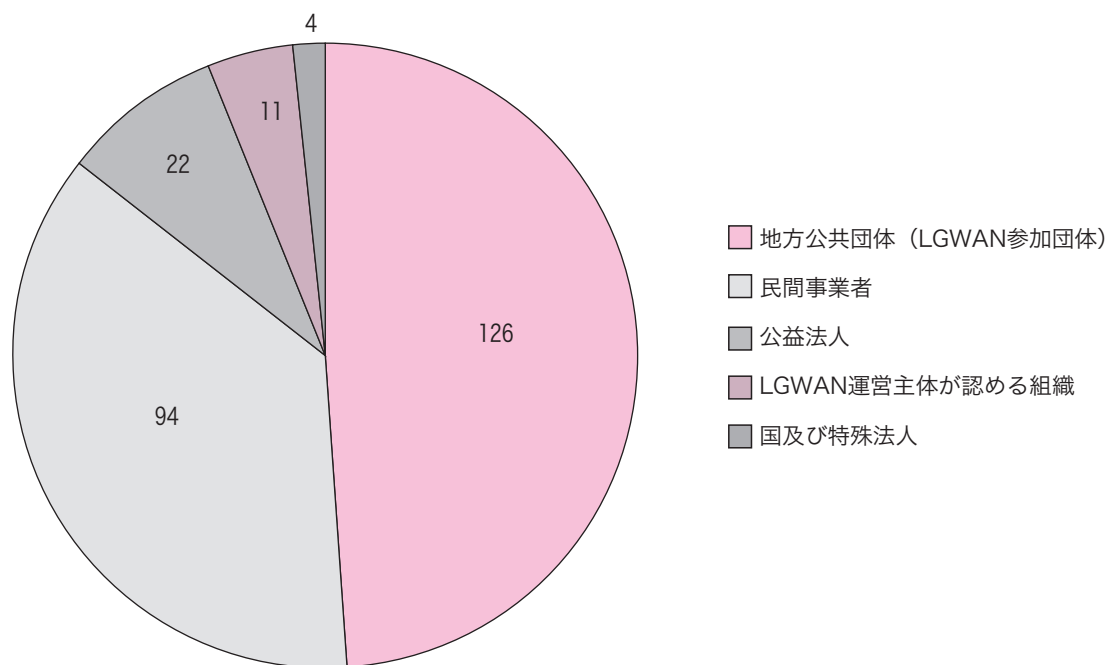
総合行政ネットワーク運営に対してLGWAN-

ASPサービス提供者が負担するASP接続料金は、総合行政ネットワークASP接続約款及び課金方針書に基づき、決定されています。(URL：<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/15,7638,41.html>)

第1章で述べたLGWAN-ASPのサービス提供者のうち、ASP接続料金を支払うのはホスティングサービスに限られています。ファシリティサービス、通信サービス、アプリケーション及びコンテンツサービスの各提供者には、現在の制度では、ASP接続料金は発生しません。

したがって、現在のASP接続料金制度では、一つのホスティングサービスに複数のアプリケーション及びコンテンツサービスを搭載しても、料金は変わりません。また、ホスティングサービス提供者と

図-5 アプリケーション及びコンテンツサービス提供者の内訳



アプリケーション及びコンテンツサービスの提供者が異なることも想定した料金制度となっているため、アプリケーション及びコンテンツサービスだけを提供する場合には、既存のホスティングサービス提供者に登録することでサービスが可能になります。

6 最後に

自治体クラウドなどに見られるように、ネットワークを介したサービスの共同利用及び相互連携に

よる行政事務の一層の効率化に向けた取り組みが注目されています。

個人情報を含む行政情報が漏洩するリスクを回避し、必要なセキュリティが確保された情報通信ネットワークとして、すでに十分な稼働実績を有するLGWANを電子行政の情報通信ネットワーク基盤として位置づけ、自治体クラウドや関係機関相互間のデータ連携等においてLGWAN-ASPを積極的に活用することで、安全かつ効率的な国民本位の電子行政が一層身近になることを期待するところです。

LGWAN-ASPサービス接続／登録状況（平成22年12月13日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の接続／登録状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録 262件	■ホスティング	接続 163件
■通信	登録 158件	■ファシリティ	登録 208件

接続／登録済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しております。

<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/15,0,41.html>